

(別紙2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年1月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101352
法人名	社会福祉法人 秦ダイヤライフ福祉会
事業所名	グループホーム あざみの家
所在地	〒781-0011 高知県高知市薊野北町2丁目25番8号
自己評価作成日	平成21年9月10日
評価結果市町村受理日	平成22年3月23日

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年10月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970101352&SCD=320
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

あざみの家が開設してから6年目に入りました。当初から入居された方がほとんどで、重度化の傾向（平均介護度が3.2）にあります。利用者の状態を見極め、出来るだけ歩くことを大切にケアに取り組んでおり、ご家族の協力もいただき、遊餐を兼ねて公園に出かけ、家族水入らずの会話や利用者の状態を確認していただく機会に生まれたり、毎月、ご本人の状態を手紙でお知らせし情報を共有したうえで、ご家族と事業所が一緒に関わっていく関係づくりにつなげています。また、職員は、ご縁があり、あざみの家で家族同様に一緒に生活している利用者一人ひとりの状態を把握し、その都度声かけし、利用者の話を聞きその思いを汲み取り、その人らしい暮らしを見守り支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、小高い丘の広い敷地内に特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所と棟続きで併設され、利用者同士の交流があるとともに、地域交流スペースや多目的ホールでは、生き生き百歳体操やボランティアによる舞踊や歌謡などが催され、利用者もこれらの行事等の参加者と交流している。事業所が開設されて6年目となり、利用者の介護度が高くなる傾向にある中、職員は、利用者一人ひとりの能力を見極め、その力を活かしてその人らしい暮らしを見守り、支え、利用者主体のケアに徹している。法人全体の行事等を通じて地域住民との交流も行われており、今後も、事業所から積極的に地域に出向いていくなど、さらに地域密着型の事業所としての発展が期待される。

自己評価および外部評価結果

ユニット名

(あざみの家1階・2階)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>共に生き、共に育み、手を取り合う「風通しのいい家」を基本コンセプトに、「ゆっくり、ゆったりと」「笑いのたえない憩いの場」「ぬくもりのふれあい」の3本柱の理念があり、日頃の関わりの中で一番大事にしている事として、職員全員で利用者主体の支援について繰り返し考えながら取り組んでいる。</p>	<p>利用者を「生活の主体」に、職員は「生活のパートナー」として、地域と結びついた生活を大切にする事業所独自の理念があり、職員は日頃から理念を振り返りながら、利用者の理解に努め、温かい気持ちを大切にされたケアに取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>毎日の日課として散歩に出ていることから、近所の方が声を掛けてくれたり、利用者も職員も一緒になって会釈や声を掛けたりしている。</p>	<p>地区会には法人全体で加入しているが、地域活動への参加は少ない。日々の散歩時には地域住民との挨拶を欠かさず、いきいき百歳体操等の参加者や小規模多機能型居宅介護事業所の利用者と行事を通じて交流している。</p>	<p>法人の地域交流スペースや多目的ホールでの交流に取り組んでいるが、地域の行事等の情報収集を行い、事業所から積極的に地域活動に参加していくことを期待したい。</p>
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>在宅からの申し込みや相談にお出での方へ、認知症への理解と関わりについての話も合わせてさせている。</p>	/	/
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に1回運営推進会議の中で、必ず利用者一人ひとりの状況やサービス内容について報告した後、家族さんや役員の方、地域包括支援センターの方にご意見を伺い、今後のサービスにいかしている。</p>	<p>2カ月毎に会議を開催し、事業所の運営状況や評価結果、利用者の状況等を報告し、意見交換をしている。</p>	<p>運営推進会議のメンバーとして、地域内の民生委員、ボランティア、地区会の方の参加を検討されることが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターの方とは、運営推進会議への参加も含め関わりを深めている。市の担当の方とは、わからないことがあれば連絡を取っている。</p>	<p>日常的には、地域包括支援センターと入退居や困難事例等について相談し、助言をもらうなど協力関係を築いている。また、市の行政担当者には、必要に応じて制度等に関して相談している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束はしていない。職員の話し合いの場で取り上げたり、研修にも参加し、職員全員で共有している。</p>	<p>身体拘束の禁止について、研修を受け伝達講習で職員間で共有し、拘束のないケアに取り組んでいる。日々のミーティング時に話し合うとともに、言葉による拘束について職員間で注意し合っている。外出傾向のある利用者は把握できており、外出した時はさりげなく見守っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待は、「してはいけない」「見て見ないふりをしないこと」「見ないふりは同罪である」を職員全員に徹底し取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>後見人制度を活用している事例（2件）もあり、今後も必要性に応じて支援していくようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や契約更新の際は、ご家族に十分に説明し、理解と協力をいただいている。解約の場合は、次のサービス利用が受けられるよう、ご本人やご家族の不安を解消し、納得していただけるまで支援している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃の面会や家族会の中で不満、苦情、意見などを聞いている。できるだけ早く解決できるようにしている。意見箱の設置はしている。	家族会は年に5～6回開催されており、日頃の来訪時も含めて、意見等を聞くよう努めている。意見等があれば職員で話し合い、早期に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会や小規模多機能ホームあざみの荘との合同職員会、法人職員会を通して全事業所が共有できるように、職員の意見く機会があり、その場で話し合っている。	毎月の職員会やユニット会の機会に、職員から意見を聞く機会があり、利用者の入退居や職員の交代などについても話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を通して職員の勤務状況が把握できている。また、個別面談で個々の思いや意見を聞いている。職場の環境整備面も併せて話している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の研修やグループホーム（ユニット会、全体会）で勉強会をしている。研修を受けてきた職員より報告を受け、職員全員で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	グループホーム連絡会を通して情報交換をしている。また、他の事業所を見学させてもらい、サービスの向上につなげている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人さんを中心に「困っていること」「不安なこと」「どうしてほしいか」など話し合いの中で把握し、ホームとの信頼関係を築いている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	ご家族の困っていること、不安なこと、要望など、少しずつ話を引き出せるよう耳を傾け、信頼関係を築いている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	現状の話を聞き、グループホームの現状も話した上で、これからの対応について話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は、本人の状態も把握しており、共感しながら良い関係が保たれている。また、職員同士で連携を取りながら、変化に合わせて利用者への関わりをしている。		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	ご家族にも「できたこと」「わからなくなったこと」「嬉しかったこと」など、毎月お知らせし、利用者の現状を共有してもらい、一緒に関わっていく関係を築いている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている</p>	ご家族に協力してもらいながら、関係維持に努めている。突然の親戚や友達などの面会に驚いたりしている。（家族の協力のお陰です）	家族の協力で、自宅の畑に行ったり、馴染みの店で外食をするほか、家族の声かけで親族や友人の訪問があるなど、これまでの関係を継続できよう取り組んでいる。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	入居者同士の関係には、波があり、いい雰囲気の時と、ちょっとした事で言い合いになったりすることがある。また、みなさんを巻き込むこともある。職員は気に留めながら関わっている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	サービスの終了したご本人、ご家族にも声を掛けさせてもらうなど、引き続き関係をもっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族とのカンファレンスや個々の話から思いを確認している。	日々の関わりのなかで、利用者一人ひとりの会話や、表情、態度等から、意向や希望を把握するよう努めている。また、家族や知人等からも情報をもらい、思いや意向を汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	カンファレンスや家族の面会時に日頃の様子の話の中に合わせて、若いころの話と現実の行動と結びつけて把握し、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各勤務帯のチームワークで入居者一人ひとりの状態の申し送りをしている。日々状態が異なるので、その都度の情報が大事である。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3カ月に1回のプランの見直しをしている。日頃の生活や変化の様子など、職員全員で共有し話し合い、計画作成担当者がプラン作成につなげている。	日々のカンファレンスや毎月のモニタリング、家族の意見も踏まえて、3カ月毎に介護計画を見直している。利用者の状態に変化があった場合は、その都度見直し、家族とも話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>関わりの中で日頃の様子と違った事、意外な行動、自分からやろうとしたこと、職員の気づきなど、記録し、共有することで、日々のケアやプランの見直し活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>日頃の様子の中で、「もうちょっと試してみようか」「階段のぼってみる」といった声掛けや職員の気づきから、前向きに関わっている。今回パワーリハビリテーションに少しでも取り組む時間を作ろうとしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>出来るだけ周りの刺激をと思っている。行事を通して「来る」「話す」「見る」「聞く」ことで家族さんと一緒に本人を盛り立てている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の希望する病院に受診できるようにし、付き添いはほとんど家族対応としている。緊急時に救急搬送や協力医療機関などに受診する場があるが、家族にも連絡し確認している。</p>	<p>利用者、家族の希望するかかりつけ医で受診できるよう支援している。協力医療機関の往診（内科月2回、歯科2回）も定期に受けている。家族の通院付き添いを基本としているが、家族の都合によっては職員が対応している。また、受診結果は家族から書面で報告してもらい共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションを毎週月曜日に利用し、健康管理のチェックをしている。また、随時入居者の状態の変化によって連絡し、指示を受けたり訪問をしてもらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は、出来るだけ出向いて本人はもちろん家族や看護師との連絡を取りながら、本人の状態の把握に努めている。本人の気持ちが下向きにならないように声を掛けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>18年4月、法人と事業所で指針やマニュアルなどを作成している。家族会や個別に事業所で出来る対応について説明している。看取り介護も2事例関わっている。</p>	<p>看取り指針マニュアルを作成している。これまでも看取りの事例があり、家族会でも事業所で対応できる支援について説明するなど、今後も家族等の思いに寄り添い対応していく体制ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は、法人で年に2回実施している。（夜間想定・地震対策・火災訓練・消化訓練・など）	法人全体で併設施設と合同で、消防署の協力も得て避難訓練を実施している。地域にもお知らせはしているが地域住民の参加はない。非常時の食料等の準備をしている。	災害時には地域住民の協力は欠かせないので、引き続き、地域住民に防災訓練への参加を呼びかけるとともに、運営推進会議を活用し、協力体制をつくることを期待したい。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	いちばん大事にしている事である。個人情報共有の中で言葉に出していけないことに気をつけている。	職員会やユニット会で対応について周知徹底し、日々のトイレ誘導時などにおいて、誇りやプライバシーを損ねない声かけや対応に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「わかること」「わからないこと」「できること」「できないこと」を見極めながら、出来るだけ本人が決定できるように、個々にあった関わりをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの年齢や性格、好みも違うので、利用者の気持ちを大事に状態を見極めながら、声掛けするなど、いい雰囲気をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出来るだけ声を掛けて、「髪がたってる」「目やにが」など、利用者が気づいて出来るように関わっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の出来ることを一緒に下準備から関わってもらい、声かけで支援しながら「むかし取った杵柄」を發揮してもらおう場を作っている。	調理の下ごしらえから後片付けまで、利用者一人ひとりの力量に合わせて、出来ることを職員と一緒にしている。職員はさりげなく介助をしながら、同じものを一緒に楽しく食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	「食べること」「飲むこと」には、チェック表を作成して摂取量の把握に努め、少ない場合は、随時、個々に補給をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々に合わせて口腔ケアに誘っている。拒否なくできるようにあの手この手で声を掛け合っている。また、口の内側、舌も清潔にしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に排泄パターンが異なり、また、その時のトイレに行く気持ちもあるが、トイレで排泄するよう、時間間隔をみて声を掛けながら支援している。パットがトイレ代わりにならないようにと思っ関わっている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、排泄間隔が開いたり、尿量が多い利用者はパットを使用し、利用者一人ひとりの状況に応じて声かけし、トイレで排泄するよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に、牛乳や水、お茶、好きな飲み物を飲んでもらっている。毎食時には、寒天ゼリーを提供し、一口でも多く水分を採ってもらい、随時、お茶や白湯、コーヒー、ジュースなど、いろんな味の飲み物を提供している。また、運動の前後や排泄後、入浴前後、夜間帯など、機会を見ながら声を掛けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者一人ひとりに応じて入浴への声掛けをしている。また、拒否がある場合は、時間をおいたりや職員が変わって対応している。決して無理強いはしていない。	利用者の希望に応じて、日中、夜間も入浴できるよう支援しており、毎日入浴する利用者もいる。入浴を拒否する利用者には、時間や職員を変えて声かけし、無理強いせず、2、3日毎に入浴するよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々にお昼寝などを勧め、表情も体調もよく、落ち着いて眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を確認しながら服薬のセットをしている。往診や家族が薬を持ってきた時は、その都度内容の確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>普段の何気ない話の中から、利用者の今までの暮らしの輝きの部分を把握し、声かけし、笑顔や喜び、張り合いに結び付けている。常に利用者を中心に声かけし、利用者にとって安心感のある支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>毎日の個々にあった散歩やその都度の買い物に出ている。また、季節に応じて外出している。</p>	<p>車椅子の利用者も一緒に、日常的に事業所周辺の散歩や量販店等に行っている。また、季節毎に花見やミカン狩りなど、家族も一緒にドライブに出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物時には、職員が声を足しながら、支払いを一緒に出来るよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者から電話の希望があれば、取り次ぐ支援をしている。手紙の返信の声かけもしているが、手紙を読むことで懐かしみ、満足している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所は、「食」の大事な場所であり、明るさ、におい、調理の音など、おいしく食べれる雰囲気配慮するほか、安心して歩ける足元、ゆっくりと安心できる湯ぶねなど、家庭と変わらないような環境作りなど、それぞれの場所に応じた心配りをしている。</p>	<p>食堂兼居間のソファに手作りのカバーがかけられ、暖簾風のカーテンが明るく、家庭的な雰囲気となっている。また、季節の花を掛け、利用者の作品や写真が貼られた居間は、和やかでゆっくりとくつろげる空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者がくつろげるそれぞれの場所に自分から進んでいき、気の合う方が同士で話をしたり、一人で過ごせるようにしている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に協力してもらい、本人が使っていたものや安心できるもの、落ち着くものを持ってきてもらい、環境作りに心掛けている。</p>	<p>鏡台や飾り棚、タンスなど馴染みの家具が持ち込まれ、思い思いに装飾したり、家族写真を飾るなど、その人らしい居室となっている。セミダブルのベッドが備え付けられているが、利用者によっては畳を敷くなど配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム会で、利用者の「わかること」「わからないこと」「できること」「できないこと」を見極め、職員の関わり方について話し合っている。「関わり一つ、声掛け一つ」を繰り返し取り組んでいる。</p>	/	/

V アウトカム項目		ユニット名 1階・2階	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11. 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない